

一般財団法人 篠原欣子記念財団 平成31年度奨学金給付願書(B)

私は、貴財団法人の奨学生として奨学金の給付を受けたく、必要書類を添付して応募いたします。

記入： 年 月 日

ふりがな			印	写真(カラー写真) 上半身正面、無帽 応募前3カ月以内 タテ4.5cm×ヨコ3.5cm のものを貼付する 写真裏面に氏名記入 (スナップ、白黒写真、 不鮮明な写真は不可)	
氏名			印		
電話番号	自宅	—	—		
	携帯	—	—		
E-mailアドレス	パソコン				
	携帯				
他の奨学金制度の 利用の有無 ※該当するものに ○を記入	※他の奨学金制度を申請中または利用中の場合、下記に記入				
	() 申請中	() 貸与型	円／年額		
	() 利用中	() 給付型	円／年額		
	() 利用無	奨学金(または法人)の名称			
家計支持者の状況 (主に誰または何の収入で生活しているか)	() 父母・祖父母・配偶者、() 本人/独立生計者、() 公的扶助： その他：				
世帯の状況 (平成30年12月末日時点の状況を記入) ①家計支持者とその配偶者、および家計支持者が扶養している者を記入。但し既婚者、または本人が世帯主で独立生計者の場合は、その世帯を記入。(※注3) ②本人が祖父母の扶養となっている場合は、祖父母を記入 ③家計支持者およびその配偶者を除き、給与収入・所得の欄は記入不要(※注4)	続柄	氏名	扶養等の状況(税務上の扶養)	給与収入(※注1)	事業所得(※注2)
	本人		() 扶養外/独立生計者 () 配偶者の扶養 () 父・母等の扶養	右記記入	
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
			() 家計支持者 () 家計支持者の扶養・同居 () 家計支持者の扶養・別居		
世帯人数および世帯給与・所得合計	世帯人数(※注3)	人	世帯給与・所得合計 平成30年分(※注4)		

＜備考＞（※提出は前ページのみ／こちらは提出不要です）

※注1：給与収入の額（控除前の年収／平成30年分＝平成30年1月～12月分）を記入してください。
公的年金、生活保護、雇用保険を需給している場合も収入とみなし、この欄に記入してください。

その他の所得（配当所得、雑所得、退職所得、一時所得、不動産所得等）がある場合、この覧に合算して記入してください。（例：給与収入500万円、雑所得30万円、事業所得100万円の場合⇒給与収入530万円、事業所得100万円と記入）

※注2：事業所得がある場合は、こちらに所得の額（＝収入－必要経費／平成30年分＝平成30年1月～12月分）を記入してください。

（事業所得：農業、漁業、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の事業を営んでいる人のその事業から生じる所得／事業的規模の不動産所得を含む）

その他の所得（配当所得、雑所得、退職所得、一時所得、不動産所得等）は、「給与収入」覧に記入してください。

※注3：世帯人数は、平成30年12月末時点における父母や配偶者等の家計支持者（本人の生活を支える収入を得ている人）と本人、および家計支持者が扶養している人（祖父母を除く）の合計です。

家計支持者が扶養している兄弟姉妹は、別居でも世帯人数に加えます。（兄弟姉妹が家計支持者の扶養から外れている場合は、同居でも世帯人数から除きます。）

なお、本人が独立生計者または配偶者の被扶養者で、かつ父母等他の世帯と同居の場合は、他の世帯の家計支持者および家計支持者が扶養している人数も加えます。

※注4：世帯給与・所得合計は、家計支持者と配偶者の給与収入・所得の合計を記入してください。
（兄弟姉妹・本人分は記入不要。ただし、本人が親等の扶養を外れている場合は、本人分を記入）

本人が独立生計者または配偶者の被扶養者の場合は、本人の給与収入（既婚者の場合は、本人と配偶者の給与収入の合算）が対象となります。

ただし、父母等他の世帯と同居の場合は、他の世帯の家計支持者および配偶者の給与収入・所得も対象となります。（生計が一となるため）